

平成25年度夏期企画展

飛鳥・藤原京 を 考古科学する



■ 会期 平成25年 八月一日(木) — 九月一日(日) 月曜日休館 八月二五日(木)は無料公開日
 ■ 入館料 一般二六〇円(七〇円)・大学生二三〇円(六〇円) (内は二名以上の団体料金 高校生および一八歳未満は無料) 開館時間 九時から十六時三〇分 入館は十六時まで

■ 交通 近鉄 橿原神宮前駅 飛鳥駅から「かめバス(周遊)」で「飛鳥資料館」下車
 近鉄・JR 桜井駅から石舞台行バスで「飛鳥資料館」下車

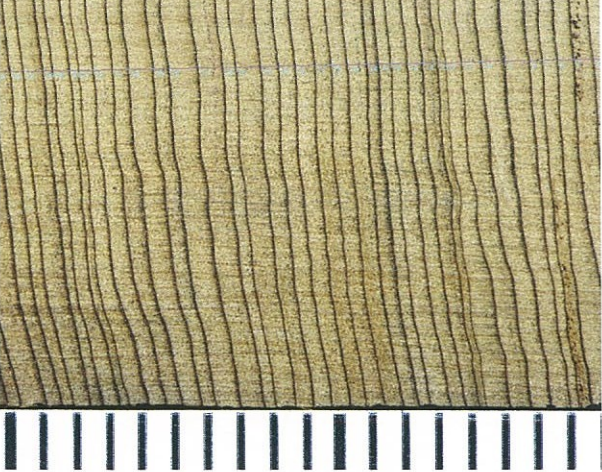
■ 後援 近畿日本鉄道株式会社、奈良交通株式会社

■ ギャラリートーク 八月四日(日) 一三時三〇分〜 / 八月二八日(日) 一三時三〇分〜 いずれも六〇分程度

考古学と自然科学の共同作業！



刃物による解体の跡が残る馬の骨
(藤原宮出土)



年輪年代測定用の年輪の接写画像



地鎮具と内部に水晶が写るX線CT画像
(藤原宮大極殿院南門出土)

■ ギャラリートーク ■

8月4日(日)・18日(日)午後1時半～

遺跡の発掘調査や文化財の調査研究あるいは保存修復をおこなう上で、遺物の材質・構造調査、遺跡の保存環境調査、動植物遺存体による古環境の復元、木質文化財の年代測定、遺跡の計測・探査など、自然科学的手法を応用した調査研究はたいへん大きな役割を果たします。これらは「考古学」と呼ばれており、奈文研では埋蔵文化財センターが中心となって研究を進めています。

飛鳥・藤原京の調査においても、こうした考古学の活躍は目覚ましいものがあります。そこで今回は、飛鳥・藤原京を主な舞台に、発掘調査から整理作業における考古学の役割と成果を分かりやすく紹介する展覧会を企画しました。実際に調査で用いた機器類とともに、調査の対象となった考古資料もまじえつつ、奈文研における考古学の最前線をご紹介します。

■ 展示期間

平成 25 年 8 月 1 日(木)～ 9 月 1 日(日)
月曜休館 (8 月 15 日(木)は無料入館日)

■ 時間

午前 9 時～午後 4 時半(入館は午後 4 時まで)

■ 料金

一般 260 円(170 円) 大学生 130 円(60 円)
高校生および 18 歳未満は無料
※()は 20 名以上の団体

■ 主な展示品

藤原宮大極殿院南門出土地鎮具
高松塚古墳版築層はぎとり
藤原宮出土動物骨
分析・探査・三次元計測機器類

■ バス

- ・近鉄 橿原神宮前駅、飛鳥駅から「かめバス(周遊)」で飛鳥資料館下車
- ・近鉄・JR 桜井駅から石舞台行で飛鳥資料館下車
- ・近鉄大和八木駅から(土・日・祝日のみ)「橿原市コミュニティバス」で飛鳥資料館下車

■ 無料駐車場普通車 11 台分あり (近くに有料駐車場あり)

◆ 飛鳥資料館周辺図



奈良文化財研究所 **飛鳥資料館**

<http://www.nabunken.go.jp/asuka>